

# 車椅子用段差解消リフト

< KL660 >  
< KL990 >

< KL660S >  
< KL990S >

< KL1400S >



↑写真はKL660(手すりAスイッチ、補助ブリッジはオプション)

## ■KL1400S

高さ1400mm対応  
体育館や各種ホールなどで  
ステージ昇降に便利。



キャスター付き

## ■KL660、660S

ピット工事の必要がなく最小限の  
工事で設置OK。高さ660mm対応。  
(660Sはステンレス仕様)

キースイッチ

手すり

FRPテーブル  
+ノンスリップ加工

足はさみ防止機構

標準スロープ



## ■KL990、990S

KL990のハイタイプ  
高さ990mm対応。  
(990Sはステンレス  
仕様)

手すりA標準装備



## 車椅子用段差解消リフト

KL660  
KL990

KL660S  
KL990S

KL1400S

### ■設置が簡単

水平な場所にセットするだけでピット工事の必要がありません。分解組立式だから短時間に最小限の工事で設置が可能です。

### ■屋外設置可能

屋外での使用可能。錆びにくいステンスタイプもご用意しました。

### ■豊富なオプション

使用目的、設置場所に合わせたオプションをご用意用途に合わせてお選びいただけます。

### ■簡単操作

スイッチひとつで簡単操作。足はさみ防止機構、ドアタイプ大型手すり、キースイッチなど安全機構も充実。

### ■薄型高性能

テーブル厚さ70mm薄型タイプで高性能。電動車椅子でもOK。最大1400mmの高さまで持ち上げます。

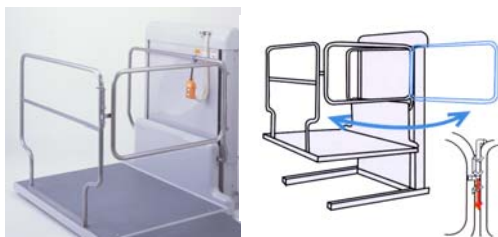
### ■豊富な機種・オプション

ご利用高さに合わせた3種類、さらに錆びにくいステンレス仕様もご用意。豊富なオプションで使い勝手も向上。幅広い用途にご利用いただけます。

## オプション

### 手すりAタイプ(KL660.660Sオプション)

■ テーブルからの落下防止柵。ドアタイプ開閉式。介護者の安全も考えて設計しました。高さ90cm。ステンレス製



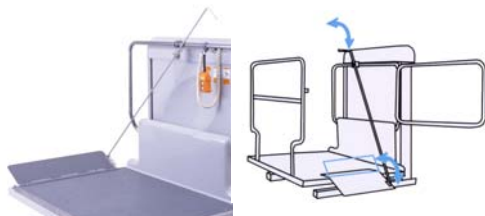
### 取り外し式スロープ

■ 取付外しが可能なスロープ。標準スロープでは急な時や、スペースがない時に。軽くて丈夫なアルミ製取扱いも簡単です。長さ1m。



### 補助ブリッジ

■ アルミサッシなどの出入り口、隙間の大きな場所に利用する渡し板。幅750mm長さ200mm。付属バーでどこからでも開閉可能です。



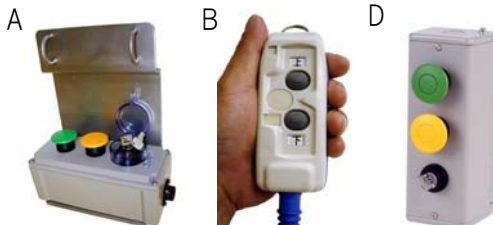
### 停電時手動降下ハンドル(KL660.660Sオプション)

■ 停電時に手動ハンドルで降下が行えます。万一の停電時に備えて。



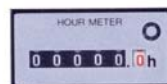
### 追加スイッチ

■ 必要な場所に必要な個数だけ追加できます。用途に合わせてお選びください。



### 稼動時間計

■ 使用頻度の高い場所などのメンテナンス、管理用に。



### 漏電ブレーカー

■ アースと漏電ブレーカーは必ず取り付けましょう。



## 仕様

型式	KL660(KL660S)	KL990(KL990S)	KL1400S
テーブル最高位	660mm	990mm	1400mm
テーブル最低位	70mm	70mm	130mm(キャスト仕様)
ストローク	590mm	920mm	1260mm
上限自動停止範囲	70~660mm	450~990mm	850~1400mm
本体寸法(mm)	1200×1170×1180(高) 標準スロープ寸法400×800	1200×1170×1550(高) 標準スロープ寸法400×800	1200×1170×1970(高) 取り外しスロープ寸法約1000×800
テーブル寸法(mm)	1200×900(手すりなし)	1200×900(手すり内寸1150×850)	1200×800(手すり内寸1150×750)
本体重量	120kg(分解時最大部品55kg)	140kg(分解時最大部品65kg)	160kg(分解時最大部品75kg)
最大積載荷重	200kg	200kg	180kg
主な材質	FRP・スチール(ステンレス)	FRP・スチール(ステンレス)	FRP・ステンレス
電源	100/420W(50/60Hz)		
安全装置	操作電圧24V、電源キースイッチ、足はさみ防止機構、漏電ブレーカー(別売)		
標準付属品	スロープ、カバー、電源コード6M スイッチB	スロープ、カバー、電源コード6M 手すりA、スイッチB	スイッチA、カバー、電源コード6M 手すりA、キャスト、稼動時間計、 補助ブリッジ、取外しスロープ

本仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

2002/12